

2017.9.20
報道関係者各位
プレスリリース

hatsutoki(ハットキ)2017年秋冬のビジュアルを発表。
今季よりBEAMS JAPAN、International Gallery BEAMSにて
取り扱いスタート。



播州織の産地である兵庫県西脇を拠点とするブランド「ハットキ (hatsutoki)」が2017年秋冬のビジュアルを公開した。これまで関西圏で着実にファンを獲得してきたブランドは、今シーズンよりBEAMS JAPAN、International Gallery BEAMS fennicaなど関東圏での取り扱いが本格的にスタート。高い技術を誇る産地の職人と、新世代のチームによって開発が繰り返されて生まれたテキスタイルは、素材の魅力を引き出した、美しくしなやかなワードローブとなって登場する。



hatsutoki 2017AW VISUAL

「これが本当にコットン？」綿織物の産地・播州で生まれたテキスタイルは、とろけるような質感、光沢感がありながら、綿ならではの素朴さが美しい。今季は西脇の草花をモチーフに織り上げられたジャガード織や、山や木々、木の葉の色の重なりなど、どこか懐かしくもみずみずしい日々の風景からイメージを膨らませた色彩から生まれたコレクションとなった。染糸の組み合わせで創り出す先染め技法の織物(播州織)は、色合いが角度によって変化する美しいシャンブレイを持ち合わせる。他にも、まるで空気を織り込んだかのようなガーゼ調のコットン、縹糸にウールやカシミアを用いて織り上げた、軽やかであたたかなストールなど、素材を生かした多様な表情や色彩が魅力だ。



hatsutoki 2017AW VISUAL

【POP-UP STORE INFORMATION】

09/20(WED) – 10/20(FRI)	梅田蔦屋書店[大阪・梅田]
10/04 (TUE) – 10/17(WED)	神戸大丸7F[兵庫・神戸]
10/18(WED) – 10/31(TUE)	播州織工房館 [兵庫・西脇]



【ブランドプロフィール】

hatsutoki(ハツトキ)は西脇市を中心に集積する繊維工場と協力し、素材からのものづくりを80年以上続けてきた島田製織(株)が2010年に立ち上げたファッションブランド。日本各地より集った新世代のメンバーによって、生産背景を生かした繊細なシャツやストールなどを提案している。水・土地・人に恵まれた綿織物の街ならではの、美しくしなやかな風合いと肌触りが特徴。



【デザイナー】

村田裕樹

1988年東京都生まれ。大学在学中に服づくりを始めた。東京で活動するブランドのアシスタントなどをする中で、素材に興味を持ち全国の生地産地を回る。その後島田製織(株)に入社し、東京から西脇へ移住。hatsutokiのデザイナーとなる。

兵庫県西脇市 / 播州織産元 島田製織株式会社 兵庫県西脇市野村町1796-67

<http://hatsutoki.com> CONTACT : 龍山 info01@hatsutoki.com 0795-27-7008

